



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月5日

上場会社名 日本システム技術株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4323 URL https://www.jast.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平林 武昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 大門 紀章 TEL 06-4560-1000  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,746	△0.6	△201	—	△183	—	△140	—
2020年3月期第1四半期	3,770	△8.2	△308	—	△299	—	△223	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △165百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △165百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△26.28	—
2020年3月期第1四半期	△42.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	13,230	5,901	44.4	1,094.77
2020年3月期	12,988	6,218	47.7	1,154.07

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 5,870百万円 2020年3月期 6,189百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響を精査中であり、現時点において当社グループに与える影響を合理的に把握することが困難であるため未定としております。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期1Q	5,612,230株	2020年3月期	5,612,230株
2021年3月期1Q	249,984株	2020年3月期	248,984株
2021年3月期1Q	5,362,514株	2020年3月期1Q	5,307,501株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、特に業績予想につきましては新型コロナウイルス感染症による影響を現時点において合理的に算定することが困難であると判断し未定としております。詳細につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合関係等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個人消費の冷え込みや企業活動の抑制など様々な分野の経済活動に波及し、それに伴い雇用・所得環境が悪化し景気に大きな影響を与えました。また、5月下旬の緊急事態宣言解除以降も収束の見通しが立たず、依然として厳しい状況が続いております。

国内IT産業につきましては、直近の統計(経済産業省、特定サービス産業動態統計5月確報)において、2019年の売上高前年比が4.0%増(2018年の売上高前年比は1.5%増)とプラス傾向を継続しておりましたが、足元における新型コロナウイルス感染症の影響拡大もあり2020年5月は前年同月比で4.1%減とマイナスに転じており、先行きが極めて不透明な状況にあると認識しております。

このような環境下、当社グループ(当社及び連結子会社)におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による事業活動への影響を受けながらも、営業・販売活動のオンライン化等による受注案件の安定的確保や従業員のテレワーク実施による稼働率の維持等により、結果、売上高37億46百万円(前年同期比0.6%減)、営業損失2億1百万円(前年同期は営業損失3億8百万円)、経常損失1億83百万円(前年同期は経常損失2億99百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億40百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億23百万円)と、当第1四半期における業績に与える影響は軽微なものとなりました。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業(受注ソフトウェアの個別受託開発)につきましては、金融・保険・証券業向け案件が前年を上回ったものの、製造業、通信業及びサービス・流通業向け案件等がそれぞれ減収となり、売上高はほぼ横ばいに推移いたしました。外注加工費等のコスト減の結果、売上高27億16百万円(前年同期比1.8%減)、営業損失1億48百万円(前年同期は営業損失1億83百万円)となりました。

次に、GAKUEN事業(学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス)につきましては、EUC(関連システムの個別受託開発)が前年を下回ったものの、仕入販売、大学向けPP(プログラム・プロダクト)販売及び導入支援等がそれぞれ増収となり、売上高5億53百万円(前年同期比21.3%増)、営業損失11百万円(前年同期は営業損失42百万円)となりました。

次に、システム販売事業(IT機器の販売及び情報通信インフラの構築)につきましては、主力の大学及び公共系案件が前年を下回ったものの、高収益案件の好調及び販売費等のコスト減により、売上高2億36百万円(前年同期比33.2%減)、営業利益6百万円(前年同期は営業損失29百万円)となりました。

最後に、医療ビッグデータ事業(医療情報データの点検、分析及び関連サービス)につきましては、保険者向けの支援サービス等が前年を上回り、売上高は堅調に推移いたしました。研究開発費等のコスト増により、売上高2億40百万円(前年同期比23.3%増)、営業損失54百万円(前年同期は営業損失53百万円)となりました。

## (当社グループの四半期業績の特性)

当社グループの事業の特性といたしましては、主として顧客の検収時期が多くの企業の会計期末にあたる3月に大きく集中し、次いで第2四半期末に当たる9月に集中する傾向があります。したがって、例年当社グループの第1、第3四半期連結会計期間の収益は、第2、第4四半期連結会計期間と比較して相当に少額となる特色があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

まず、流動資産の残高は97億50百万円(前連結会計年度末比1億47百万円増)となりました。これは主として売掛金の回収及び前受金による現金及び預金の増加並びに仕掛品の増加によるものであります。また、固定資産の残高は34億79百万円(同94百万円増)となりました。

流動負債の残高は57億34百万円(同5億65百万円増)となりました。これは主としてその他に含まれる未払費用及び前受金の増加並びに賞与引当金、買掛金及び未払法人税等の減少の結果であります。また、固定負債の残高は15億94百万円(同7百万円減)となりました。

最後に、純資産の残高は59億1百万円(同3億16百万円減)となりました。これは主として利益配当金の支払及び当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純損失によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の状況は、期首の資金残高39億8百万円より16億89百万円増加し、55億97百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、19億24百万円の収入(前第1四半期連結累計期間は9億11百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが10億13百万円増加した要因は、未払金を主としたその他債務の支払額の減少並びに前受金にかかる収入及び売上債権の回収に係る収入がそれぞれ増加したことによるものであります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、45百万円の支出(同4億21百万円の支出)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが3億76百万円増加した要因は、主として子会社株式の取得による支出が減少したことによるものであります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、1億51百万円の支出(同2億92百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが4億44百万円減少した要因は、主として短期借入の実行額の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの事業活動への影響を現時点において合理的に算定することが困難であることから、未定とさせていただきます。業績予想につきましては、今後開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,909,343	5,598,656
受取手形及び売掛金	4,502,676	2,785,869
有価証券	200,644	200,401
商品及び製品	71,634	89,548
仕掛品	698,017	907,125
原材料及び貯蔵品	1,516	1,895
その他	238,579	179,455
貸倒引当金	△19,471	△12,740
流動資産合計	9,602,941	9,750,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	763,597	763,372
減価償却累計額	△462,594	△470,494
建物及び構築物(純額)	301,002	292,877
土地	142,361	142,361
その他	487,040	496,952
減価償却累計額	△358,559	△359,307
その他(純額)	128,480	137,645
有形固定資産合計	571,845	572,883
無形固定資産		
のれん	437,343	399,050
顧客関連資産	181,063	164,584
商標権	37,348	34,234
技術関連資産	66,303	60,775
ソフトウェア	64,545	64,344
その他	7,626	7,626
無形固定資産合計	794,230	730,615
投資その他の資産		
投資有価証券	558,208	623,577
退職給付に係る資産	465,943	466,139
繰延税金資産	436,814	535,879
差入保証金	443,489	442,037
その他	162,906	155,782
貸倒引当金	△48,036	△47,023
投資その他の資産合計	2,019,325	2,176,393
固定資産合計	3,385,400	3,479,892
資産合計	12,988,341	13,230,104

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	990,491	751,706
短期借入金	1,500,000	1,503,815
1年内返済予定の長期借入金	8,400	8,400
未払法人税等	307,068	75,069
前受金	823,126	1,495,058
賞与引当金	774,631	350,367
役員賞与引当金	30,676	8,138
工事損失引当金	—	10,622
その他	733,742	1,530,865
流動負債合計	5,168,137	5,734,044
固定負債		
長期借入金	2,800	700
役員株式給付引当金	47,643	55,521
役員退職慰労引当金	1,845	2,460
退職給付に係る負債	992,271	996,954
繰延税金負債	61,062	53,766
その他	496,364	484,977
固定負債合計	1,601,987	1,594,379
負債合計	6,770,124	7,328,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,076,669	1,076,669
資本剰余金	1,113,912	1,113,912
利益剰余金	4,178,503	3,886,066
自己株式	△233,240	△233,240
株主資本合計	6,135,844	5,843,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,396	145,704
為替換算調整勘定	△30,713	△91,200
退職給付に係る調整累計額	△28,978	△27,486
その他の包括利益累計額合計	53,704	27,018
非支配株主持分	28,668	31,254
純資産合計	6,218,217	5,901,679
負債純資産合計	12,988,341	13,230,104

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,770,217	3,746,215
売上原価	3,154,602	3,017,984
売上総利益	615,614	728,230
販売費及び一般管理費	924,077	929,725
営業損失(△)	△308,463	△201,495
営業外収益		
受取利息	3,152	5,718
受取配当金	2,838	3,469
受取賃貸料	1,578	803
為替差益	—	2,599
助成金収入	11,596	3,139
その他	943	3,428
営業外収益合計	20,109	19,158
営業外費用		
支払利息	765	722
為替差損	9,870	—
賃貸費用	128	127
その他	282	206
営業外費用合計	11,047	1,056
経常損失(△)	△299,400	△183,393
税金等調整前四半期純損失(△)	△299,400	△183,393
法人税等	△70,361	△46,862
四半期純損失(△)	△229,039	△136,531
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,363	4,396
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△223,676	△140,928

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△229,039	△136,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,316	32,308
為替換算調整勘定	59,205	△62,289
退職給付に係る調整額	△3,564	1,492
その他の包括利益合計	63,956	△28,488
四半期包括利益	△165,082	△165,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△160,513	△167,614
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,569	2,594

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△299,400	△183,393
減価償却費	14,144	16,124
ソフトウェア償却費	6,714	3,969
のれん償却額	22,009	14,274
顧客関連資産償却額	15,966	6,634
商標権償却額	—	925
技術関連資産償却額	—	1,642
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△386,757	△424,142
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,058	7,089
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△5,173	△195
受取利息及び受取配当金	△5,990	△9,188
支払利息	765	722
売上債権の増減額 (△は増加)	1,588,636	1,694,552
前受金の増減額 (△は減少)	389,430	672,828
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△225,196	△227,887
仕入債務の増減額 (△は減少)	△273,864	△235,938
その他	238,098	853,300
小計	1,081,439	2,191,318
利息及び配当金の受取額	6,233	8,980
利息の支払額	△577	△739
法人税等の支払額	△175,586	△274,813
営業活動によるキャッシュ・フロー	911,508	1,924,746
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	17,450	—
有形固定資産の取得による支出	△16,041	△16,995
ソフトウェアの取得による支出	△2,633	△10,530
投資有価証券の取得による支出	△450	△18,360
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△416,822	—
差入保証金の回収による収入	186	1,908
差入保証金の差入による支出	△2,194	△1,027
その他	△807	△237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△421,314	△45,241
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	455,779	3,815
リース債務の返済による支出	△11,131	△2,188
長期借入金の返済による支出	△2,100	△2,100
自己株式の取得による支出	△80	—
配当金の支払額	△149,982	△151,509
財務活動によるキャッシュ・フロー	292,485	△151,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,303	△38,122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	794,983	1,689,399
現金及び現金同等物の期首残高	4,204,722	3,908,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,999,706	5,597,654

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書「第5 1. (1) 連結財務諸表 注記事項 (追加情報)」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の拡大及び収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(株式給付信託 (BBT) )

当社は、2018年6月26日開催の第46回定時株主総会決議に基づき、役員退職慰労金制度を廃止し、取締役の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリット並びに株価下落のリスクを共に株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値増大に貢献する意識を高めることを目的として、「株式給付信託 (BBT) (=Board Benefit Trust) 」 (以下、「本制度」といいます。) を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。)を通じて取得され、当社取締役(社外取締役を除きます。以下断りがない限り、同じとします。)に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)が本信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第1四半期連結会計期間末の当該自己株式の帳簿価額は87,713千円、株式数は47,800株であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	GAKUEN 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	2,765,431	456,157	353,670	194,957	3,770,217	—	3,770,217
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,453	2,049	7,254	—	23,757	△23,757	—
計	2,779,885	458,207	360,925	194,957	3,793,974	△23,757	3,770,217
セグメント利益 又は損失(△)	△183,731	△42,932	△29,397	△53,623	△309,684	1,221	△308,463

(注) 1. 調整額のセグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結会計期間に実施したAG NET PTE. LTD. を株式取得したことによる企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、ソフトウェア事業におけるのれんは暫定的に算出された金額ではありましたが、前連結会計年度末に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、のれんは金額を修正しております。修正後の当該事象によるのれんの発生額は303,284千円であります。詳細につきましては「注記事項(企業結合等関係)」をご参照ください。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	GAKUEN 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	2,716,187	553,450	236,135	240,441	3,746,215	—	3,746,215
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,683	495	1,727	—	16,906	△16,906	—
計	2,730,871	553,945	237,863	240,441	3,763,121	△16,906	3,746,215
セグメント利益 又は損失(△)	△148,012	△11,478	6,621	△54,265	△207,134	5,639	△201,495

(注) 1. 調整額のセグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合関係等)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2019年5月31日に行われたAG NET PTE. LTD.との企業結合について、前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されており、取得時点(みなし取得日 2019年6月30日)において、顧客関連資産に73,537千円、商標権に39,716千円、技術関連資産に70,507千円、繰延税金負債に31,239千円が配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額は455,805千円から152,521千円減少し、303,284千円となっております。

なお、同社株式のみなし取得日を2019年6月30日としているため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。